

# 乳児股関節脱臼を予防しましょう

赤ちゃんの股の関節がはずれているのを、「先天性股関節脱臼」といいます。しかし、生まれてから、後天的にはずれてしまうことが多いことが、わかってきました。

## 【生まれたその日から】

生後1日目から、以下のことに注意してください。



- 赤ちゃんの足は、曲げた自然な形にし、自由な動きを妨げないようにしましょう。
  - 足をしめつける小さいズボンや衣服はさけ、ゆったりとした衣服を選びましょう。
  - 無理に股を開かせる必要はありません。
- 一見あたりまえのような、ごく日常的なことが大切です。

## 【抱き方】

生まれたその日から、足をお母さんに向かい合わせにして抱いてください。

「コアラ抱っこ」と名付けられています。

横抱きのスリングは開脚の姿勢がとれず、また、両脚が伸ばされる危険もあるため、注意が必要です。

(1)



(2)



(1) は生まれたばかりの時や、母乳を与える時によい方法です。

(2) は慣れてきたら、片手でも抱けます。この時、お母さんの曲げた肘のところにタオルを置くと、赤ちゃんもお母さんも楽です。

## 【その他】

オムツのサイズは少し早めに切り替え、ゆったりとした状態にしましょう。また、腰のテープは腰高の位置で止め、股ぐりを大きくとりましょう。